



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年7月31日

上場会社名 株式会社 ドウシシャ 上場取引所 東
 コード番号 7483 URL http://www.doshisha.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野村 正治
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 兼 常務執行役員 (氏名) 藤本 利博 TEL 06-6121-5669
 (財務経理 兼 貿易業務担当)
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	24,196	8.4	1,399	△18.7	1,550	△13.6	941	△13.5
25年3月期第1四半期	22,312	△10.4	1,721	△29.6	1,794	△27.0	1,088	△24.4

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 1,176百万円 (40.0%) 25年3月期第1四半期 840百万円 (△36.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	25.24	—
25年3月期第1四半期	29.35	29.31

(注) 当社は、平成25年4月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「1株当たり当期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり当期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	64,482	50,500	77.1	1,333.03
25年3月期	61,560	49,884	79.9	1,319.41

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 49,710百万円 25年3月期 49,202百万円

(注) 当社は、平成25年4月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「1株当たり純資産」を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	15.00	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、平成25年4月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。平成25年3月期については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	50,500	7.5	3,550	9.3	3,550	5.3	2,200	7.6	58.99
通期	107,000	7.8	8,000	18.3	8,000	8.2	4,900	9.1	131.40

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期1Q	37,375,636株	25年3月期	37,375,636株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	84,334株	25年3月期	84,334株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期1Q	37,291,289株	25年3月期1Q	37,077,402株

（注）当社は、平成25年4月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、昨年末に新政権が発表した「アベノミクス」により経済・金融政策への期待感が高まり、急激な為替の円安や株高が進み、輸出企業の環境改善などが見られました。また消費マインドも徐々に改善に向けた動きが見られ、時計などの高級宝飾品などの販売状況に持ち直しが見られました。しかしながら、欧州債務危機等による海外経済の停滞や厳しさの続く雇用・所得環境の影響により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経営環境の下、当社グループでは、「厳しい世の中でこそ、必要とされる会社になろう！」をテーマに、「より良い商品をより安く、より専門的に」提供する企業を目指して、「顧客ニーズに対応した新商品開発及び既存商品のリニューアルの促進」「既存得意先との取り組み強化」「新たな販路の開拓」などの諸施策を推進しております。

その結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高24,196百万円(前年同期比108.4%)、売上総利益5,703百万円(前年同期比94.6%)、営業利益1,399百万円(前年同期比81.3%)、経常利益1,550百万円(前年同期比86.4%)、四半期純利益941百万円(前年同期比86.5%)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

「開発型ビジネスモデル」におきましては、食品・酒関連、アパレル、シューズ関連、100円・300円均一商材において販売は概ね堅調に推移したものの、昨年末からの急激な円安の影響による原料価格及び仕入価格の高騰により、利益面で前年同期を下回る結果となりました。A&V関連については、地デジ液晶テレビの販売鈍化が収まったものの、他社メーカー製品との価格競争により利益確保が難しい状況となり低調に推移しました。一方で生活雑貨関連においては、前年同期において販売が好調であったマグボトルのデザイン及びサイズのリニューアルを行い好評を得たことや新たに開発した温冷両用の保温機能付きステンレス製タンブラーの販売が奏功したことから好調に推移しました。家電関連においては、消灯時に蛍光塗料により人気キャラクターが浮かび上がるシリーズなどを展開しているLEDシーリングライト、昨年中に多数のメディアで取り上げられた“カモメファン”をはじめとした扇風機などの販売が伸長しました。またリビング・家具収納関連では、新しいカテゴリーとして小型収納ボックスなどの販売が好調だった他、新たな販路として取り組んだネット・通販業態においての販売が好調に推移いたしました。

その結果、当セグメントの売上高は12,458百万円(前年同期比107.3%)、セグメント利益は614百万円(前年同期比62.2%)となりました。

「卸売型ビジネスモデル」におきましては、ギフト関連では、オリジナルの高単価高割引の詰め合わせギフトや生鮮ギフトなどのお中元の販売が好調となりました。またアジア圏をターゲットとした海外への販売もスタートいたしました。時計やバッグなどの有名ブランド関連では、消費マインドが徐々に改善していることに加え、事業部間の垣根を越えてカテゴリーとブランドをミックスした販促企画の提案や豊富なカジュアルブランドの拡販に取り組んだことにより販売が好調に推移いたしました。また輸入雑貨関連では、新たに取り扱いを開始した世界的に有名なブランドである「ハワイアナス」のサンダルの特約販売が好調に推移いたしました。

その結果、当セグメントの売上高は10,768百万円(前年同期比106.4%)、セグメント利益は871百万円(前年同期比108.2%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は50,543百万円となり、前連結会計年度末(47,521百万円)に比べ3,021百万円増加いたしました。これは主に、受取手形及び売掛金1,482百万円の増加、商品及び製品2,906百万円の増加及び現金及び預金1,738百万円の減少によるものであります。固定資産は13,938百万円となり、前連結会計年度末(14,038百万円)に比べ100百万円減少いたしました。

この結果、総資産は、64,482百万円となり、前連結会計年度末(61,560百万円)に比べ2,921百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は10,796百万円となり、前連結会計年度末(8,493百万円)に比べ2,303百万円増加いたしました。これは主に、買掛金3,128百万円の増加及び未払法人税等1,160百万円の減少によるものであります。固定負債は3,184百万円となり、前連結会計年度末(3,182百万円)に比べ1百万円増加いたしました。

この結果、負債合計は、13,981百万円となり、前連結会計年度末(11,675百万円)に比べ2,305百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は50,500百万円となり、前連結会計年度(49,884百万円)に比べ616百万円増加いたしました。これは主に、四半期純利益941百万円及び剰余金の配当559百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は、77.1%(前連結会計年度末は79.9%)となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は21,627百万円となり、前連結会計年度末より2,038百万円減少いたしました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果減少した資金は1,027百万円(前年同期比2,004百万円増)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益1,550百万円、仕入債務の増加額3,139百万円による増加及び売上債権の増加額1,544百万円、たな卸資産の増加額2,897百万円、法人税等の支払額1,582百万円による減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は485百万円(前年同期比395百万円減)となりました。これは主に、定期預金の預入による支出300百万円及び貸付による支出126百万円による減少によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は558百万円(前年同期比257百万円減)となりました。これは主に、配当金の支払いによる支出536百万円による減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、平成25年5月8日に公表いたしました業績予想から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,665,244	21,927,191
受取手形及び売掛金	15,472,753	16,955,536
商品及び製品	7,220,445	10,126,830
短期貸付金	128,904	248,234
その他	1,037,555	1,288,157
貸倒引当金	△2,922	△2,024
流動資産合計	47,521,982	50,543,926
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,870,100	7,930,755
減価償却累計額	△3,257,735	△3,329,083
建物及び構築物（純額）	4,612,364	4,601,672
土地	6,588,471	6,588,471
その他	1,588,860	1,520,459
減価償却累計額	△1,043,787	△1,092,351
その他（純額）	545,072	428,107
有形固定資産合計	11,745,908	11,618,252
無形固定資産		
投資その他の資産	141,107	175,590
投資有価証券	1,364,934	1,323,222
長期貸付金	5,262	9,298
その他	972,817	995,945
貸倒引当金	△191,602	△184,173
投資その他の資産合計	2,151,412	2,144,294
固定資産合計	14,038,428	13,938,136
資産合計	61,560,410	64,482,063
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,098,076	8,226,384
1年内返済予定の長期借入金	5,500	5,500
未払法人税等	1,629,838	469,398
役員賞与引当金	59,500	10,452
賞与引当金	40,546	8,725
その他	1,659,692	2,076,444
流動負債合計	8,493,153	10,796,904
固定負債		
社債	2,500,000	2,500,000
長期借入金	203,500	203,500
退職給付引当金	137,829	146,207
資産除去債務	53,837	54,074
その他	287,552	280,564
固定負債合計	3,182,719	3,184,345
負債合計	11,675,872	13,981,250

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,993,003	4,993,003
資本剰余金	6,043,780	6,043,815
利益剰余金	38,051,157	38,433,137
自己株式	△79,856	△79,883
株主資本合計	49,008,085	49,390,073
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	74,140	40,437
繰延ヘッジ損益	80,925	189,885
為替換算調整勘定	39,218	90,145
その他の包括利益累計額合計	194,285	320,468
新株予約権	37,696	36,952
少数株主持分	644,470	753,318
純資産合計	49,884,538	50,500,812
負債純資産合計	61,560,410	64,482,063

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
売上高	22,312,287	24,196,871
売上原価	16,285,175	18,493,101
売上総利益	6,027,111	5,703,769
販売費及び一般管理費	4,305,398	4,303,881
営業利益	1,721,712	1,399,888
営業外収益		
受取利息	440	644
受取配当金	15,897	7,258
受取家賃	4,468	4,348
為替差益	39,529	118,712
その他	25,918	38,758
営業外収益合計	86,254	169,721
営業外費用		
支払利息	3,252	4,093
支払手数料	4,247	4,526
固定資産除却損	—	6,470
その他	6,180	4,478
営業外費用合計	13,681	19,569
経常利益	1,794,286	1,550,040
特別利益		
新株予約権戻入益	199	744
特別利益合計	199	744
税金等調整前四半期純利益	1,794,485	1,550,784
法人税、住民税及び事業税	537,427	444,122
法人税等調整額	148,494	93,036
法人税等合計	685,921	537,158
少数株主損益調整前四半期純利益	1,108,563	1,013,625
少数株主利益	20,520	72,276
四半期純利益	1,088,043	941,349

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,108,563	1,013,625
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△49,617	△33,703
繰延ヘッジ損益	△174,028	108,959
為替換算調整勘定	△44,911	87,498
その他の包括利益合計	△268,557	162,754
四半期包括利益	840,006	1,176,380
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	838,826	1,067,532
少数株主に係る四半期包括利益	1,179	108,847

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,794,485	1,550,784
減価償却費	109,941	116,916
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△55,940	△49,048
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△30,660	△31,821
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△7,919	△8,327
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△990	8,377
受取利息及び受取配当金	△16,338	△7,902
支払利息	3,252	4,093
売上債権の増減額 (△は増加)	△927,978	△1,544,903
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△4,495,948	△2,897,481
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,041,315	3,139,259
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△463,365	944
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△42,101	△44,308
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	237,426	299,614
その他	△7,337	18,467
小計	△862,156	554,664
利息及び配当金の受取額	16,051	8,015
利息の支払額	△10,170	△7,428
法人税等の支払額	△2,175,558	△1,582,563
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,031,834	△1,027,312
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△300,000
有形固定資産の取得による支出	△85,336	△51,499
無形固定資産の取得による支出	—	△1,252
投資有価証券の取得による支出	△4,247	△4,282
貸付けによる支出	—	△126,000
貸付金の回収による収入	3,844	2,633
その他の支出	△5,072	△5,910
その他の収入	223	571
投資活動によるキャッシュ・フロー	△90,587	△485,740
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の処分による収入	241,737	82
自己株式の取得による支出	△224	△74
リース債務の返済による支出	△14,390	△21,524
配当金の支払額	△528,125	△536,869
財務活動によるキャッシュ・フロー	△301,002	△558,386
現金及び現金同等物に係る換算差額	△11,139	33,385
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,434,563	△2,038,053
現金及び現金同等物の期首残高	20,526,288	23,665,244
現金及び現金同等物の四半期末残高	17,091,724	21,627,191

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	開発型 ビジネスモデル	卸売型 ビジネスモデル	計				
売上高							
外部顧客への売上高	11,607,144	10,122,341	21,729,485	582,801	22,312,287	—	22,312,287
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	1,866,906	1,866,906	△1,866,906	—
計	11,607,144	10,122,341	21,729,485	2,449,707	24,179,193	△1,866,906	22,312,287
セグメント利益	988,778	804,975	1,793,754	59,330	1,853,085	△131,372	1,721,712

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、不動産事業、物流事業、介護福祉事業及び海外子会社等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△131,372千円は、セグメント間取引の消去47,462千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△29,637千円及びその他調整額△149,197千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	開発型 ビジネスモデル	卸売型 ビジネスモデル	計				
売上高							
外部顧客への売上高	12,458,980	10,768,982	23,227,962	968,909	24,196,871	—	24,196,871
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	2,108,669	2,108,669	△2,108,669	—
計	12,458,980	10,768,982	23,227,962	3,077,579	26,305,541	△2,108,669	24,196,871
セグメント利益	614,775	871,267	1,486,042	140,234	1,626,276	△226,388	1,399,888

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、不動産事業、物流事業、介護福祉事業及び海外子会社等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△226,388千円は、セグメント間取引の消去△8,992千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△71,382千円及びその他調整額△146,013千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。